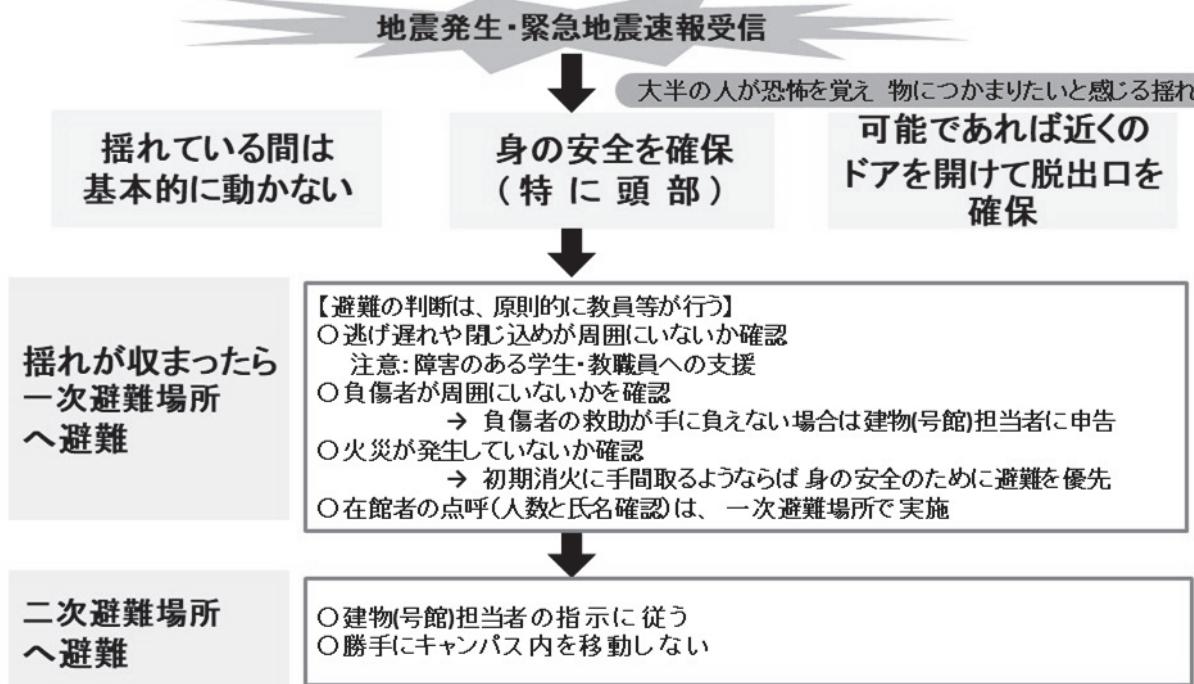


◆ 地震が発生したときの対応

本学では、学内において震度5弱以上の地震が発生したときによるべき行動の指針を以下のように定めています。地震が発生したら、まずは各自が自分の身の安全を確保し、揺れが収まつたら教員や職員の指示に従い行動してください。また、必ず安否状況を知らせてください（《参考1》参照）。

一次避難場所は建物ごと、二次避難場所は部局ごとに指定されています（《参考2》参照）。自分の部局の避難場所を把握しておくようにしてください。わからない場合は、各部局の事務に問い合わせてください。

震度5弱以上の地震における初動の行動指針



【留意点】

- ・交通機関がストップしたり、学外で火災等が発生する危険もあるため、基本的には帰宅せず一旦学内に留まってください。
- ・震度6弱以上の地震による揺れが発生した場合、本学の応急危険度判定組織が学内の建築物の安全性を調査し、判定結果を建物の見やすい場所に掲示することになっています。判定結果が掲示されていない建物にはむやみに立ち入らず、部局災害対策本部の指示に従ってください。
- ・学外では、身の安全を確保して落ち着いた段階で必ず大学へ安否状況を知らせてください（《参考1》参照）。所属部局における点呼及び安否確認の方法と連絡先を把握しておくようにしてください。
- ・学外でも部局災害対策本部からの指示があった場合は、それに従うようにしてください。

《参考1》「安否確認サービス」

- 居住地もしくは通学地で震度5弱以上の地震が発生した場合は、学務システムUTASに登録しているメールアドレスへ安否確認サービスから自動で安否確認メール（発信元：ut-safety@ems8.eansin.com）が送信されますので、学務システムUTASへの情報登録と更新をお願いします。また、メールを受け取った際は、安否情報について必ず回答してください。メールで回答する場合は登録したメールアドレスから回答してください。転送されたメールアドレスからの返信による回答は無効です。

《参考2》「二次避難場所」

- 東大HP 「東京大学における災害時の情報発信」

（https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/utokyo_emerg.html）

《参考3》災害用伝言版、災害用伝言ダイヤル

- 災害発生時には、各電話、携帯電話等の事業者が災害用伝言サービスを開始します。携帯電話事業者4社については横断的に検索できるように連携されています。家族や友人などが被災した場合、安否の確認や連絡などに活用できます。災害用伝言サービスの開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます。

- 毎月1日と15日、正月三が日（1月1日～1月3日）、防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）、および防災週間（8月30日～9月5日）に体験サービスを実施しています。実施時間帯詳細については各種webページをご確認ください。

【災害用伝言版、災害用伝言ダイヤルへのアクセス方法】

・ 災害用伝言版

災害用伝言版とは、震度6弱程度以上の地震などの災害発生時に、携帯電話等で安否情報を登録することが可能となるサービスです。

https://www.web171.jp/web171app/disasterTop/?japanese	（NTT 東日本・NTT 西日本）
https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon	（au）
https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/	（docomo）
https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/boards/#sec-03/	（SoftBank）
https://www.ymobile.jp/service/dengon/	（Y!Mobile）
https://mobile.rakuten.co.jp/support/emergency/	（楽天モバイル）

※楽天については、[web171]を推奨しています。

https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/	（ahamo）
https://povo.jp/disaster_board/	（povo）
https://www.uqwimax.jp/information/202102141.html	（UQ mobile / UQ WiMax）

※povo・UQmobile/UQWiMaxについては、[web171]を推奨しています。

・ 災害用伝言ダイヤル Tel：171

災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

《参考4》「そのほかの情報」

・ 東京都「東京防災」

（<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1002147/index.html>）

スマートフォンアプリケーションもあります。（iOS, android）

・ 観光庁「Safety Tips」（多言語対応）

（https://www.mlit.go.jp/kankochō/news08_000325.html）「観光庁HP」

スマートフォンアプリケーションもあります。（iOS, android）

東京大学 環境安全本部 [防火防災部]

問合せ先：環境安全課安全企画チーム

E-mail : kankyoanzenkikaku.adm@g.s.mail.u-tokyo.ac.jp

Tel : 03-5841-1051 Fax : 03-5841-1053